

荒尾スマートシティの

魅力と課題

班名 岱志調査班

班員 桑野 葵 (1年1組)

阿部 叶 (1年1組)

山代 萌生 (1年2組)

増永 朋華 (1年3組)

荒尾スマートシティとは

高齢化率が高い荒尾市で、市民の生活レベルを向上・維持させる取り組みとして構想されたもの。国の後押しを受け、取り組んでいる。



主な荒尾スマートシティの活動

- おもやいタクシー（AI配車の相乗りタクシー）
- 荒尾海陽スマートタウン（競馬場跡地の複合施設）の建設
- ヘルスケア事業（体温測定、血液検査等）
- 荒尾市の有明海沿岸道路の建設

荒尾市役所 総合政策課 スマート推進室の
吉光 周平さんにインタビューしてきました



吉光 周平さんのプロフィール

- ・1986年生まれ、大牟田市出身
- ・2013年 荒尾市役所に入庁
- 2022年～ 荒尾市のスマートシティ作りに関わっている



〈趣味〉

NBA観戦、筋トレ、読書



スマートシティ

- ・スマートシティ作りにかかる全体的な経費はいくらか
- ・荒尾市以外に規模を広げる予定はあるのか

荒尾海陽スマートタウン

- ・自然災害が増えている中でどんな災害対策をとるのか
- ・自分たち(学生)も使える娯楽施設をつくる予定はあるのか
- ・協賛企業からどんな協力を得ているのか
- ・得られる利益はどのくらいなのか
- ・地元企業の損害に対してどんな対応をとるのか
- ・荒尾市以外の市区町村の告知は行っているのか

荒尾市全体

- ・これから荒尾市をどういう街にしていきたいか

Q.スマートシティ作りにかかる全体的な経費はいくら？

2023年度の予算 **2億3898万円**

人件費,手当 **3000万円**

スマートタウン開発プロジェクト費 **1000万円**

ヘルスケア事業費 **2億円**

【別費用】

防災,見守り事業費 **2000万円**

おもやいタクシー運行事業費 **1500万円**



Q. 荒尾海陽スマートタウンに私達も使える娯楽施設を作る予定は？

荒尾海陽スマートタウンにできる娯楽施設

- ・大型遊具を配置する公園・緑地ゾーン
- ・温泉施設
- ・ホテル
- ・アウトドア施設



Q.得られる利益はどのくらいなのか



経済波及効果シュミレーション

【来訪者】年間約620万人

【経済波及効果】年間約480億円

【税込効果】年間約8.5億円

【就業誘発効果】約6000人

※熊本県経済波及効果分析ツールを用いて経済波及効果を試算。
上記の経済波及効果、税込効果、就業誘発効果は運営段階の試算結果。



荒尾スマートシティの魅力

- ・働く場所の選択肢が増える
- ・非常時の防災拠点として活用できる
- ・老若男女が楽しく過ごせる施設がある
- ・荒尾市を訪れる人が増え、荒尾市全体が賑わう

荒尾スマートシティの課題

- ・スマートシティの導入にコストがかかる



インタビューで分かったこと

- ・意外とお金がかかる
- ・思っていたよりも規模が大きい
- ・快適に過ごせるだけでなく人とのつながりを作る思い

インタビューを通して考えたこと

- ・スマートシティの先行事例が少なく、どのように取り組んでいて完成するのかイメージできない
- ・老人も若者も通いやすく、利用率が高いお店も建設したほうが来訪者も増加するのでは？



謝辞

インタビューにご協力していただいた吉光 周平さん
ありがとうございました。

